

珠算1級

狭き門突破 満点合格

天童三中1年奥山雄貴さん(12)と山形九小6年高橋郁君(11)の2人が、日本商工会議所が主催する珠算能力検定試験で、1級に満点合格した。満点合格は、受験者のわずか

0.42%という狭き門だった。表彰状の伝達式が15日、天童市の天童商工会議所で行われ、超難関クリアという勲章を射止めた2人は「さらに上を目指す」と笑顔を見せた。

奥山さん(天童三中1年)、高橋君(山形九小6年)



1級に満点合格し、表彰状を手にする奥山雄貴さん(左)と高橋郁君
＝天童市・天童商工会議所

向上心のたまもの「さらに上を目指す」

試験は2月11日に天童市の中部公民館など市で開催された。10桁の算、割り算のほか、掛け算、割り算の全50問を制限時間30分で解く。1級の受験者は全国6883人で、合格者は240人。奥山さんは小学2年生から通い始め、小学4年生で1級に合格した。満点合格への挑戦は今回が初めてで、一発で満点

試験は2月11日に天童市の中部公民館など

は29人だった。

2人は天童市を拠点に

する「平藤そろばん・あ

んさん教室」に通い、天

童珠算連盟に所属してい

る。奥山さんは小学2年

生から通い始め、小学4

年生で1級に合格した。満

点合格への挑戦は今回が

初めてで、一発で満点

合格するのは同教室で初

という。将来の夢はそろ

ばんの先生。「これから

も教室に通い続け、段位

認定試験で珠算、暗算と

もに最高位の十段を取れ

るように頑張りたい」と

意欲を見せる。

高橋君は幼稚園年中の

時に習い始め、小学2年

生で1級に合格した。満

点合格への挑戦は今回が

初めてで、過去3回はい

づれも1問ミスで満点を

逃してきた。「今度こそ

という強い気持ちで臨

み、やっと目標を達成

できた。小学生のうちに

珠算、暗算ともに七段に

合格したい」と晴れ晴れ

とした表情を見せた。

伝達式に同席した同教

室の武田芳子師範は「2

人同時の満点合格者を出

すことができ、指導者と

して本当にうれしい。2

人とも向上心を持ってい

るので、今後がますます

楽しみ」と目を細めた。

同教室からの満点合格は

16年連続で、計27人とな

った。

(落合慶)